「十二指腸乳頭癌術後無再発生存期間を短縮させる臨床病理学的因子の解析：多機関共同後方視的コホート研究」のお知らせ

十二指腸乳頭部癌は比較的まれな膵頭部周囲癌です。絶対的な数の少なさから、未だにその病態に関してはよく知られていません。そこで，2008 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日までに当院で十二指腸乳頭部癌に対して手術を受けた方の予後を調査し，得られたデータからどのような患者さんが再発しやすいかを調べる研究が計画され当院も参加しています。同時に生存期間を短縮させる因子や、術後抗癌剤の役割についても調査します。
この研究により、手術を受けられた十二指腸乳頭部癌患者さんにより多くの病気に対する情報を提供することが可能となります。

＜研究対象＞
当院で 2008 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日の期間に、十二指腸乳頭部癌に対する手術を受けられた患者さん

＜研究期間＞2023 年 1 月 31 日までを予定しています。

＜研究内容＞
術前の患者さんの状態、血液検査結果、術後経過、病理組織診断結果、退院後経過などを電子カルテより抽出し分析に使用させていただきます。

＜研究代表者＞京都大学　肝胆膵移植外科　教授　波多野　悦朗

研究で集めるデータは研究代表者に提供しますが、患者さんのお名前や住所など個人を特定する一切情報は含まれません。また、国内外の学会や出版物として公表することがありますが、いかなる場合でも個人情報が漏れることはありません。プライバシーは守られます。 本研究は当院の倫理・臨床研究審査委員会で承認されています。この研究終了後に、今回得られた情報を使った新たな臨床研究が始まる場合がありますが、その場合は、情報を新たに使用するための研究計画書が作成され、倫理・臨床研究審査委員会での承認を得た後に情報提供を行います。

本研究の趣旨をご理解いただき本研究に参加をお願いします。もし参加を望まれない場合は研究から除外しますので担当医師にお申し出ください。研究が始まった後でも自由に参加を取りやめることができますのでその際も担当医師にお伝えください。ご協力いただけない場合でも、今後の診療に不利益は一切きたしません。また、ご質問がある場合も担当医師にお伝えください。
ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

2022 年 4 月 4 日

京都桂病院　消化器センター外科　副部長　佐々木　直也